



ありがとうございました。

昨日の学校公開には、多くの保護者の皆さんに来校していただきありがとうございました。

今年度は、普段の学校の様子を知ってもらおうと考え、この時期に午前中いっぱいをかけて学校公開を行いました。1時間の授業参観では分からない、普段の子供たち、先生たちの様子を見ていただく時間割通りの授業を、普段通りに行いました。

しかし、子供たちは普段通りとはいかなかったようです。特に低学年では、張り切りすぎてしまった子が多く、お家の方が帰った後は、さびしくてなってしまった子、疲れた様子の子（給食こぼしも続出！）がいました。参観の皆さんもお疲れになりましたか？



いろいろな姿を見せる子供たち、子供同士のやりとり、先生との関わり…。学校は毎日同じような営みが続いて、毎日小さなドラマが続いています。昨年度のアンケートで「普段の授業は、つまらない。」というご意見がありました。お子さんの様子、学級、学年の様子はどうでしたか？

本校では、いつでも学校公開として、授業ばかりでなく、給食や掃除の時間なども参観していただけます。保護者の皆さんの都合の良い日にいつでもいらしてください。



新しい学級になって2か月が過ぎました。新たな人間関係が築かれています。だんだんと慣れてきて、少し強いもの言いになることもあり、お互いのちょっとした言葉や仕草が気になってくる時期でもあります。些細な言葉のやりとりから思わぬトラブルとなってしまう、気まずい思いで過ごすようになってしまうこともあります。

ぜひ、お子さんとの会話を大事にして、気になることがありましたら、学校へ連絡をください。一緒に考えていきましょう。こんな詩を紹介します。

ひとつの言葉

ひとつの言葉でけんかして
ひとつの言葉で仲直り
ひとつの言葉で涙を流し
ひとつの言葉で笑いあう
ひとつの言葉で頭がさがり
ひとつの言葉でいがみあう
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの心をもっている

何気ないひと言が人の心に響くことがあります。

言葉の伝え方、受け止め方によって、ひとつの

言葉の意味が変わってきてしまうのですね。

言葉、大切です。

